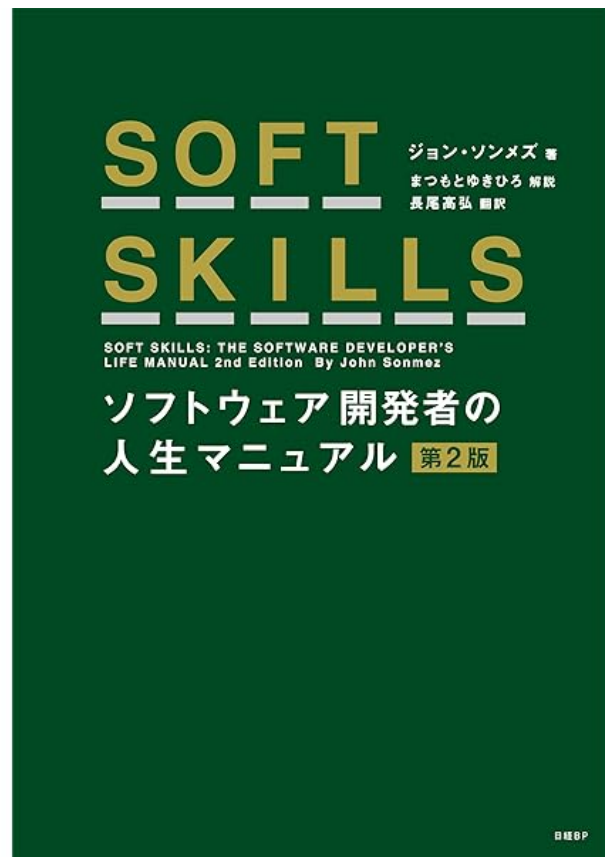


SOFT SKILLS

ソフトウェア開発者の人生マニュアル



どんな本？

エンジニア向けの本だが、
良いコードの書き方や技術の話は一切ない。

キャリアの築き方、技術の習得方法、セルフマーケティング、生産性の高め方、
フィットネス、資産形成など、「**ソフトスキル**」を高め、**ソフトウェア開発者が
よりよい人生を送るための方法**が紹介されている。

感想

筆者と状況が違いすぎて（日米の違い、時代の変遷）そのまま参考にならないと感じる点もあったが、勉強になった点が多かった。

特にキャリア、セルフマーケティング、学習の部は参考になった。

特に若手エンジニアにおすすめです。

専門特化の必要性

専門はとても大事

専門特化の必要性

世の中のソフトウェア開発者のほとんどは、どのプログラミング言語を使うかによって自らの専門分野を定義する傾向にあるが、それでは何を専門としている人なのか見えてこない。

例) C#プログラマー, Javaプログラマー

特定分野を専門にすると、その専門分野に押し込まれてチャンスの一部は閉ざされるが、それ以上にチャンスが広がることが多いことも事実。

専門領域

専門特化の必要性

- ウェブ開発スタック（フロントエンド、バックエンド）
- 組み込みシステム
- 特定のOS
- モバイル開発
- フレームワーク
- パッケージソフトウェア

専門分野の選び方

専門特化の必要性

自分がどんなタイプのソフトウェア開発をしたいかをまずはっきりさせる。
どこまで限定するかは市場規模によるが、できるだけ絞り込む。
そうすると、限定的な市場での需要は高くなる。

- 現在、過去の会社で感じたペインポイントは？それを解決する専門家になれるか？
- 誰もやりたがらない仕事やスキルのある人がいない仕事はあるか？
- カンファレンスやユーザーグループでよく話題になるテーマはどのようなものか？

専門分野の選び方

専門特化の必要性

また、専門は必要に応じて後からいつでも変えられる。

例) Microsoft Silverlight → SPA

多言語プログラマーはどうか

専門特化の必要性

多くのプログラミング言語を使えるようにすることはキャリアの上で役立つだけでなく、一つのプログラミング言語しか知らない人々よりも遥かに貴重なソフトウェア開発者になれる。

しかし、自分を何でも屋として売り込むのは難しい。

まずは専門特化にとりかかり、後から多才になれば良い。

プロであること

プロとは

プロであること

- 自分の仕事に対して高品質を維持できるような基準をもっており、いつでもその基準を守ってくれると当てにできる人
- 仕事を完成させられ、しかもその内容が正しいということを当てにできる人
- 何かが不可能な場合、進もうとしている道が間違っている場合にそれをはっきりと指摘する人
- 自分の仕事をとことん研究し、スキルを磨くことを常に心がけている人
- 答えがわからない時は常にそれを認めるが、答えを見つけてくれることをあてにできる存在でもある

プロになるには

プロであること

悪い習慣を打ち破り、良い習慣を身につける。

習慣は安定性を築き、安定性は信頼に繋がるため、習慣は極めて重要。

自分の1日を観察して、多くの習慣を見つける。

良いものと悪いものに分けてリストアップする。

身につけたい良い習慣を考えて、それを身につけるためのプランを立てる

セルフマーケティング

セルフマーケティングとは

マーケティング

製品やサービスとそれらを必要としている誰かを結びつけること

セルフマーケティング

**あなたが提供できるものを、
欲しいと思っている人と結びつけること**

セルフマーケティングが重要な理由

セルフマーケティング

同じ才能を持つ人たちの中で成功の度合いが異なるのは、純粋な運以外にはマーケティングが重要な要素。

セルフマーケティングは成功を約束するものではないが、成功するために自分がコントロールできる重要な要因。

例) 有名ロックバンドとカバーバンド、セレブシェフと無名の料理が上手なシェフ

セルフマーケティングのしかた

セルフマーケティング

セルフマーケティングはパーソナルブランドを作ることから始まる。
特に筆者が勧めているのがブログの作成。

ブログはセルフマーケティングの方法としては安くて簡単であり、しかも自分の
知名度を上げる効果は極めて大きい。
筆者が成功したのもブログのおかげ。

なぜブログが重要なのか

セルフマーケティング

社員の採用に応募する時、履歴書と短時間の面接からソフトウェア開発者のスキルを評価するのは非常に難しい。

しかし、コンスタントにブログに書いていくことで、ブログはその開発者についての情報の宝庫になっている。

ブログを持つことはいい勤め先にありつけるだけでなく、ソフトウェア開発者、コミュニケーターとしての力量を上げるのに役立ち、より多くのチャンスを引き寄せることにつながる。

ソフトウェア開発者のキャリアに重要なものはソフトウェア開発だけではない

ジョン・ソンメズ. SOFT SKILLS ソフトウェア開発者の人生マニュアル 第2版 (p.649). 日経BP. Kindle 版.